

地元産そば需要拡大プロジェクト 事業

取組に至る背景・事業の目的

木曾産そばの品質向上と安定供給を図るため、そば生産者とそば店等が連携した組織を平成 26 年度に設立した。

事業目的は、そば店が求める風味豊かな木曾産そばの生産量の確保と品質の向上を図るとともに、木曾産そばのさらなる顧客増加、需要拡大につなげていくこととしている。

また、そばとの相性が良く、かつ健康志向等によりブームとなっている「すんき」に着目し、木曾ならではの「すんきそば」として、関係団体と連携したPR活動を推進していく。

事業内容

＜木曾産そば生産性及び品質向上対策＞

○播種前栽培講習会の開催

- ・そばの反収安定のための技術対策
- ・土壌診断に基づく適正施肥による収量向上について
- ・排水対策技術について（ほ場講習）

○先進地視察研修の実施

○収穫・調製研修会

＜木曾産そばのPR活動＞

○協議会加盟そば店を対象とするスタンプラリーの開催

○のぼり旗の作成と配付

○各地域の新そば祭り等のイベントと連携したPR活動

○銀座NAGANOを活用した木曾のそばのPR活動(対象外事業)

○そば粉を活用した新たな郷土料理の開発(対象外事業)



【スタンプラリー賞品抽選会】

事業効果

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
玄そばの高品質化	3 等以上 53% 規格外 47%	1 等 31% 2 等 68% 規格外 1%	1 等 45.3% 2 等 54.7% 規格外 0%
そば生産量	82 t	88 t	106 t

スタンプラリーに 455 名の応募があり、木曾のそばへの関心、知名度等のアンケートを同時に行うことができ、今後の事業展開の参考資料となった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

地域ブランドとして定着してきた「木曾産そば」の更なる認知度向上を図るとともに、そばの品質安定性を確保するための活動を継続的に取り組む必要がある。

そば単体のメニューだけでなく、地域ブランドの「すんき」等と組み合わせたメニューの提供等について、そば店・製麺業とそば生産者組織が一体となって取り組んでいく。

【選定のポイント】

木曾産そばの生産量増加、品質向上に官民一体となって取組み、成果をあげている。また、郡内のそば店における木曾産そばの利用促進やPR活動に取り組む、地消地産、地域活性化に貢献した。

団体名	木曾のそば推進協議会（南木曾町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0 2 6 4 - 2 5 - 2 5 1 5 （長野県商工会連合会木曾支部）	事業費	6 1 2, 0 9 3 円
		支援金額	4 8 9, 0 0 0 円